

9月奥穂高岳・山行報告書

日本勤労者山岳連盟／めぐろ山学クラブ・仲間

提出日： 2012年11月21日(水)

作成者： K.O

1. 山域	北アルプス・穂高連峰
2. ルート	上高地→涸沢→奥穂高
3. 期間	2012年 9月14日(金)夜発 15日(土)－17日(月)
4. 形態	涸沢にテントで定着
5. メンバ	合計 3名

6. コースタイム(日時、天気、到達点、幕営・宿泊地：箇条書き)

- ◆9/15(土)天気:晴れ 気温:29℃: 4:45 松本駅発 680円→5:25 バス 新島々発→7:15 上高地バスターミナル→8:05 明神館→9:05 徳澤園/休憩→10:12 横尾/休憩→11:40 本谷橋/休憩→13:45 涸沢テント場
- ◆9/16(日)天気:晴れ 気温:25℃: 6:20 涸沢テント場→7:37 ザイデングラード取付き→9:12 穂高岳山荘→10:32 奥穂高岳山頂/休憩→13:00 穂高岳山荘→14:55 涸沢テント場
- ◆9/17(月)天気:曇り 気温:22℃: 6:25 涸沢テント場→7:30 本谷橋/休憩→8:30 横尾/休憩→9:30 徳澤園→10:23 明神館/休憩→11:35 上高地バスターミナル

7. 報告・コース状況

(概念図、アクセス、取付点、下降点、困難な箇所、岩・沢・雪の状態、道標、踏み跡、残置支点、テント適地等)

昨年に続いての穂高岳となった。上高地～涸沢まで今年もたくさんの登山者であった。登山者は、若者のほうが多く、涸沢ではテントも多かった。テント場ではテントはもちろん、銀マットやシュラフも貸してくれるらしかった。でも、一式借りたら費用はいくらになるのだろうか?と思った。

2日目 ザイデングラードから奥穂高岳に登った。私は初めてのルートで、テント場から眺めると、ガレ場のどこに登るのだろうかと思えた。実際は、尾根があり、岩場ではあるが普通に歩けた。ただ、登山者が多く、渋滞で待たされることもおこった。それは、まだ序の口であった。

穂高岳山荘の脇からの登りは、もっと待たされた。全く動かずに1時間程度待った。先頭の人が、かすかに見えたが、岩場が怖くて登れないように見えた。皆イライラして、「何をやってんだー、早く登れ・・・」の罵声。そのうち、下りの登山者とのタイミングが合わないのに気づいて、「登り10人、下り10人よ交代で行け・・・」と言うが、うまくいかず、そのうち下ってきた登山者と口喧嘩のありさまであった。

そこを何とか通過すると、なだらかになり、北アルプスが見渡せて、景色は最高であった。ジャンダルムにも人影が何人も見えた。奥穂高山頂について、頂上の石組に登ろうとしたら、後ろから「ちょっと待って」の声が聞こえた。振り返ると、隣の岩にたくさんの人がいて、順番待ちであった。

3000mでも行列ができていた。ほんと、日本人ていうカンジ?

先程、穂高岳山荘の列の我々の後ろで、怒鳴っていたおじさんに、写真を撮っていただいた。

本当は静かなおじさんでした。このおじさんには、涸沢からの下山でも何度も会って、「やーっ」みたいな挨拶もするようになった。

奥穂高岳脇の問題の箇所は、下りでは、係員が立って登りと下りの調整をしていた。やはり待たされた。

紅葉は、まあまあかな。ガレ場の草が黄色に色図いてきれいであった。

ザイデングラードの下りでは、ニホンザルの群れとすれちがった。3000m近くまでサルがいることに驚きだった。

3日目は、無事下山しました。

8. その他 (山に関係ない事でも、エピソードでも何でも可)